

R4年度 事業名	鯖江市国際交流協会事業補助金
R3年度 事業名	鯖江市国際交流協会事業補助金

総合戦略 体系	531	世界のめがねの聖地SABAEの確立 に向けた組織強化	人権尊重と地域連携の推進	共生社会の推進
------------	-----	-------------------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民が企画し実施する国際交流・多文化共生事業を推進し、多様な文化に対する理解と個性や独創性を育むとともに、誰もが住み良い共生のまちづくりを目指す。				
	概要	鯖江市国際交流協会が行う国際交流サロン活動(いつでも誰でも国籍等を問わずに集い、相談ができる場所の設置・管理・運営=市民活動交流センター内国際交流協会フロア)に対し助成をする。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)イベント的な事業は開催が難しかった。新型コロナウイルス関係文書翻訳やホームページへの情報掲載を通じ、外国人向けの情報発信に努めた。 (R3年度)感染対策をしながら、協会の活動としてのイベント的な事業は実施できるものもあった。日本語教室もニーズに応じて途切れることなく実施した。 (R4年度)オンラインでの情報交換等を通じて近隣市の活動も参考にしながら、活動の幅を広げていきたい。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	申請者(鯖江市国際交流協会)からの申請に基づき、補助金を交付する。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	協会による国際交流窓口の開設日数		日	目標値	300	300	300	300	
				実績値	304	268	266		
	計算 根拠	国際交流に関する情報提供や外国人市民に対する支援の窓口を設置することで、市民による国際交流・多文化共生の拠点とする。(～2022)		達成率	101.3	89.3	88.7		
				実数値					
	窓口の利用者数			目標値					1400
				実績値					
	計算 根拠	窓口の開設日数×5人/日(2023～)		達成率					
				実数値					
				ランク	A	B	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により、施設利用制限があったため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,000	3,000	3,000	2,700	2,850		事業タイプ	単独事業
	決算額	3,000	3,000	3,000	2,700			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	16	601	国際交流事業補助金	3,120	2,850	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,850

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 入管法改正やコロナ対策に伴う外国人市民増加に伴い、本事業の重要度は上がってきている。協会関係者との対話・連携を深めるとともに、外国人のための無料相談会や日本語教室、日本語ボランティア養成講座の開催など、団体の自発性を活かしながら外国人との交流促進と国際社会に対応できるまちづくり、ひとつづくりに対する支援を行う。

来年度へ向けて R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題
日本語教室や外国人向けの防災ツアーを中心に活動を再開しつつある。R4年度は山登りツアーなど、コロナ禍のなかでも可能な事業を積極的に実施していくことが求められる。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点
コロナ禍の長期化でイベント等を通じた情報発信が難しくなっている中、外国人のコミュニティーリーダーとの連携を模索する事業に取り組み、外国人市民との接点を維持していく。また、令和4年度作成予定の災害時外国人支援マニュアルについて、その実効性を高めるための取り組みを進めていく。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	男女共同参画啓発事業
R3年度 事業名	男女共同参画啓発事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2004	終了年度	9999
	目的	ジェンダー平等の実現を目指し、市民の男女共同参画に関する意識を高揚する。(男女共同参画の啓発)				
	概要	さばえ男女共同参画ネットワークの組織を中心に、夢みらい館・さばえとの連携を図りながら、朗読劇制作による啓発や広報誌への記事掲載、各種イベント等での啓発活動により、市が目指すジェンダー平等と男女共同参画実現に向けた市民への意識啓発と促進を図る。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)例年12月に開催している男女共同参画推進大会(フェスタ)は中止。フェスタ内で行っていた人権研修は、単独事業としてリモート形式で開催。朗読劇等の啓発事業は、動画撮影を行いユーチューブ配信。 (R3年度)男女共同参画推進大会(フェスタ)は集客困難なため中止。他の啓発事業は、オンライン活用などにより実施。 (R4年度)引き続き、コロナ感染対策の徹底とオンラインを併用しながら実施。				
	法令等 根拠	鯖江市男女共同参画推進条例	実施 形態	内容	市、さばえ男女共同参画ネットワーク、夢みらいWe等と企画段階からの協働により実施。	
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	広報・情報誌の発行回数(～2021)	回	目標値	5	5	5			
			実績値	5	4	7			
	啓発事業回数(広報誌・朗読劇・パネル展等)(2022～)	回	目標値				6	6	
			実績値						
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	広報・情報誌の配布枚数(～2021)	枚	目標値	50,000	65,000	65,000			
			実績値	91,700	67,900	164,500			
	計算 根拠	男女共同参画の浸透や理解が不十分な中、どれだけのの人に男女共同参画について、広報誌等の配布により啓発できたかを指標とする。	達成率	183.4	104.5	253.1			
			実数値						
	朗読劇の視聴者数(2022～)	人	目標値			240	360	360	
			実績値			861			
	計算 根拠	講演会等60人、YouTube200人、DVD100人	達成率			358.8			
実数値									
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,485	1,485	692	620	620		事業タイ	単独事業
	決算額	1,485	1,485	692	620	620		経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費(市民活躍課)	7,526	620	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	620

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2削減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 削減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒	維持
取組内容	男女共同参画月間や国際女性デー等の啓発月間にあわせて、SDGs推進センターおよび夢みらい館と連携しながら、パネル展や広報紙等による啓発事業を実施する。また、引き続き、市民主役事業として、広報紙への情報掲載や新たなテーマの朗読劇作成と活用、横断幕の設置等により、市民への啓発を行う。(提案型事業実施団体:さばえ男女共同参画ネットワーク)	
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 イベント等での啓発活動の機会が見込まれないことを考慮し、オンラインを活用したYouTube動画配信による啓発をメインに実施した。今後はイベント開催なども見据えながら、市民の行動に繋がるような効果的な啓発をしていく必要がある。	
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 提案型事業として、受託者(さばえ男女共同参画ネットワーク)の組織力を生かした広がりのある啓発事業を提案してもらう。	
	R5方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R4年度事業名	男女共同参画啓発・促進事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 620
R5年度事業名	男女共同参画啓発・促進事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 620

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	NPO法人育成支援事業
R3年度 事業名	NPO法人育成支援事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民協働の市民側の担い手である市民活動団体の組織力や活動基盤を強化し、協働のまちづくりを推進する。				
	概要	市民団体の特定非営利法人化に要する経費およびNPO法人が組織および活動強化を目的に行う事業に対し助成する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	申請者(NPO法人格を取得した団体)からの申請に基づき、補助金を交付する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
市民、市民活動団体およびボランティア団体への広報回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	0	0		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
市内におけるNPO法人数		法人	目標値	24	24	25	25	25
			実績値	24	24	25		
計算 根拠	年間1NPOの新規法人化を推進する。	達成率	100	100	100			
		実数値						
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	180	240	240	140	140		事業タイプ	単独事業
	決算額	46	100	0	13			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	221	市民運動関係団体補助金	140	140	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	140

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない									
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ										
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み										
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計点数</th> <th>点数区分</th> <th>次年度方向性の目安</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">9</td> <td>0点~8点</td> <td>事務改善または廃止・休止</td> <td rowspan="2">維持または事務改善</td> </tr> <tr> <td>9点~16点</td> <td>維持または事務改善</td> </tr> </tbody> </table>	合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定	9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善	9点~16点	維持または事務改善
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定							
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善							
	9点~16点	維持または事務改善								

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	法人化を行った団体に対して、法人化に要する経費およびNPO法人が組織および活動強化を目的に行う事業に対し助成するという当該事業の周知徹底を図る。
来年度の実績	市内では約2年ぶりにNPO法人1件が申請、認証された。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	事業申請を行う団体との事前の打ち合わせ・情報交換が不可欠であり、情報収集能力や申請実務の支援といった細やかかつ継続的なサポートが必要であるため、相談窓口を持ち、NPO法人化のメリット・デメリットを熟知している機関が実施することが事業推進には必要と考えられる。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	提案型市民主役事業への移行、あるいは上記の課題を踏まえて市民活動交流センターが実施する事業とすることが望ましい。
R5方向性⇒	<input type="text" value="事務改善(民間委託の導入・拡大)"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	不可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):
R5年度事業名	NPO法人育成支援事業 市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	市民提案による参加と協働のまちづくり事業(まちづくり基金事業)
R3年度 事業名	市民提案による参加と協働のまちづくり事業(まちづくり基金事業)

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	市民提案による新たな公益的事業を創造することで、市民の公共サービスへの参画を進め、参加と協働による市民主役のまちづくりを推進する。				
	概要	市民団体が自主・自発的に行う、まちづくりに役立つ公益的事業の実践を促進するため、補助金を交付する。未来創造型まちづくり部門(上限50万円)およびチャレンジまちづくり部門(上限20万円)の2部門で実施。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)事業の募集期間および交付決定の時期と、新型コロナウイルスの感染拡大時期が重なったため、応募数も減少した上、交付決定後に辞退団体も出たため、事業の全体額を実態に応じ削減した。 (R3年度)新型コロナ対策支援枠「笑顔あふれるまちづくり部門」を新設。7事業が採択された。 (R4年度)イベント開催を主とする事業への補助においては、「イベント開催時における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(鯖江市)」に基づいた運営とするよう依頼した。				
法令等 根拠		実施 形態	内 容	申請者からの申請(事業提案)に基づき、市民委員による審査委員会の決定を受け補助金を交付する。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	まちづくり基金事業の広報		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	市民活動団体等へのまちづくり基金事業への応募勧奨通知件数		件	目標値	110	110	110	110	110
				実績値	52	54	122		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	まちづくり基金提案事業数のうち新規提案された事業の数の比率		%	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	55.6	85.7	95.5		
計算 根拠	新規事業の提案を半数以上確保し、市民団体が行う新たな公益的事業を 発掘する。	達成率	111.2	171.4	191.0				
		実数値	5/9	6/7	21/22				
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,500	1,500	1,500	5,000	4,000		事業タイ	単独事業
	決算額	983	1,468	300	4,999			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	14	601	市民協働まちづくり基金事業費	4,105	4,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	まちづくり基金事業の運営を継続しながら、この基金をステップにして、提案型市民主役事業の受け皿となる団体や、国などの交付金・補助金を受け比較的規模の大きな事業を受託する団体、新たな地域密着型の団体を育成する。
来年度へ向けて	<p>R3年度の実績 多様な市民団体の活躍を支援するため制度を精査して、R3年度より2部門を新設した。また「笑顔あふれるまちづくり部門(上限50万円)」を年度途中に新たに創設したことで、団体に広く知られる制度となり、当該制度に初めて申請する団体も多く、幅広い層の市民団体がまちづくりに参画できるきっかけとなる事業となった。</p> <p>R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 令和3年度は22事業、令和4年度は20事業の応募があり、まちづくりに参画する市民団体は増加しているといえる。事業目的にあるとおり、この基金をステップとして、提案型市民主役事業の受け皿となる団体や、国などの交付金・補助金を受け比較的規模の大きな事業を受託する団体、新たな地域密着型の団体育成を進める。</p> <p>実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし</p> <p>R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/></p> <p>CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由</p>

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民提案による参加と協働のまちづくり事業(まちづくり基金事業) 市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="4,000"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	災害ボランティアセンター連絡会支援事業
R3年度 事業名	災害ボランティアセンター連絡会支援事業

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	大規模な自然災害に備えるため、災害時にボランティアの活動拠点として設置される「災害ボランティアセンター」の活動がスムーズに行われるよう官民共同で設置された災害ボランティアセンター連絡会の活動を支援する。					
	概要	災害ボランティアセンターの活動の中核を担うリーダーとなるスタッフを養成するために、連絡会での必要な研修支援を行う。事業は鯖江市社会福祉協議会への委託により実施する。					
	コロナ対応の取組	(R2年度) 予定事業は感染症の影響により中止となった。 (R3年度) 委託内容をIT化・オンライン化し、研修会もオンラインで実施した。 (R4年度) コロナ禍の状況をみながら、リアルでの開催を念頭に実施する。					
法令等 根拠	災害対策基本法、鯖江市地域防災計画	実施 形態	内容	従前から市と共同事務局を担っていた鯖江市社会福祉協議会に事務委託を行う。			
現在	民間等委託(全部)						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	災害ボランティアセンター連絡会活動事業実施回数※～2021年度		回	目標値	4	4	4		
				実績値	5	-	4		
	災害ボランティアセンター連絡会活動事業数※2022年度～		事業	目標値				3	3
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	災害ボランティアセンター連絡会活動に関わる人数(延べ数)		人	目標値	300	300	300	100	100
				実績値	271	-	85		
計算 根拠			達成率	90.3	-	28.3			
			実数値						
		ランク	B	-	C				
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの感染拡大のため、大規模なイベントが開催できなかったことから、多くの参加者を集められなかった。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	55	55	58	58	58		事業タイプ	単独事業
	決算額	55	55	0	58			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	231	災害ボランティア育成事業費	58	58	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	58

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒ 維持

取組内容 全国的に大規模災害が増えているなか、コロナ禍の状況にも対応できるよう、鯖江市災害ボランティアセンター連絡会と連携して、より実践に即した災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施する。

来年度の実績 災害ボランティア活動自体の感染症対策を進めるため、「コロナ禍の災害ボランティアセンター運営」についての研修会を行った(オンライン)。その他、市(県)の総合防災訓練において、災害ボランティア運営訓練(カードゲーム)や、県ボランティアセンター連絡会との情報伝達訓練、外国人住民向けの避難所体験会を実施した。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題
全国で災害が多発する中、災害ボランティアのスムーズな受け入れ態勢を維持すべく、連絡会自体は存続していく必要がある。また、災害ボランティア活動自体の感染症対策も進めることが不可欠である。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点
これまでPR・研修等を行っていた「ボランティアの集い」や「市防災訓練」等がコロナ禍の影響で中止等になっていたが、段階を経て再開が予定されているなかで、連絡会のメンバーと情報交換を図りながら、必要な情報発信・訓練を実施する。その上で、図上訓練ゲームの想定内容を時代に即したものとなるように工夫をしたり、研修会のテーマを一般市民の参加も促すようなものにしていく。

R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業
R3年度 事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2003	終了年度	9999
	目的	家庭や職場、地域において、男女がともに能力を発揮しながらいきいきと活躍できるよう、さまざまな立場におけるワーク・ライフ・バランスの推進を図る。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象に、ワーク・ライフ・バランスを考える研修をワークショップ形式で行い、社会へ進出する前の若者が自身の将来の働き方や生き方考える機会を提供する。 ・新米パパ・ママなどライフスタイルが変化するタイミングの人らを対象に、研修及び相談会を開催する。 ・ワーク・ライフ・バランス推進において優れた活動を行っている個人や企業・団体等を「ワーク・ライフ・バランス賞」として表彰し、その優れた取組みを広く紹介する。 				
	コロナ対応の取組	(R2年度) 例年フェスタの会場で実施していたワーク・ライフ・バランス賞表彰式を、市長室で関係者のみの無観客で実施。企業診断事業の企業の座談会は中止し、企業診断をZoomを活用してリモートで実施。 (R3年度) 講座・相談会など、感染対策を徹底し、オンラインを併用しながら実施した。 (R4年度) 引き続き感染対策を徹底し、状況に応じ、オンラインを併用して実施。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	ワーク・ライフ・バランスに関する研修事業の一部を民間委託。ワーク・ライフ・バランス推進顕彰事業は市直営にて実施。		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	広報した回数(広報さばえ、HP)	回	目標値	2	3	3	3	3	
			実績値	3	3	5			
	高校生に対する研修会等の開催回数	回	目標値			2	-	-	
			実績値			2			
	研修会・セミナー等の開催回数	回	目標値			3	5	5	
			実績値			3			
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	表彰件数(2020~)	件	目標値			4	4	4	4
			実績値			4	4		
	計算根拠 ワークライフバランス賞(企業2社・個人2名)計4件		達成率			100	100		
			実数値						
	高校生によるワーク・ライフ・バランス啓発(広報さばえ掲載による啓発回数)	回	目標値			5	-	-	
実績値					5				
計算根拠 高校生が作成した記事を活用して、広報さばえに連載記事として10~2月の計5回掲載する。		達成率			100				
		実数値							
研修会・セミナー等の参加者数	人	目標値			50	50	50		
		実績値			48				
計算根拠 高校生10人×2回、新米パパママ10人×3回		達成率			96.0				
		実数値							
		ランク		C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	286	294	447	971	570		事業タイ	単独事業
	決算額	286	90	372	551			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費(市民活躍課)	7,526	570	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	570

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	地方創生推進交付金(1/2) ※対象経費472	236
2		
3		
4		
5以降		
合計		236

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	14
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
効率性	効果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない
有効性	

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ワーク・ライフ・バランス賞の表彰事業による市民や企業へのワーク・ライフ・バランスの推進・啓発、学生や子育て世代のパパ・ママにターゲットを絞ったワーク・ライフ・バランスに関する研修事業の実施により、様々な立場のひとが自身のワーク・ライフ・バランスを図り、生きやすい環境づくりができるよう推進する。また、市民への情報発信の手段としてグループLINEを活用し、ワーク・ライフ・バランスを図るための有効な情報やセミナー案内などを随時配信できる取り組みを行う。
来年度へ向けて	R3年度実績 R3年度ワーク・ライフ・バランス賞として、企業3社・個人1名を表彰した。また、新たに、高校生・出産前の夫婦を対象にしたワーク・ライフ・バランス研修及びセミナーを開催し、ライフスタイルが変化するタイミングに合わせ、家族や夫婦がそれぞれのワーク・ライフ・バランスを図った生活について考え、話し合っきっかけづくりを行った。
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 ワーク・ライフ・バランス賞受賞企業の先進的取組みの紹介を通じ、企業リーダーに対して「さばえ38組」への参加を促しながら、より一層、働きやすい職場環境づくりと女性活躍推進への取組みの重要性を意識つけていく必要がある。また、学生や新米パパ・ママなど若者層をターゲットとした事業は、参加者の募集が課題。情報を必要とする市民にどう情報を届けるかを検討する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	子育て世代のワークライフバランス研修事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 300
R5年度 事業名	子育て世代のワークライフバランス研修事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 300

R4年度 事業名	男女共同参画ネットワーク運営補助事業
R3年度 事業名	男女共同参画ネットワーク運営補助事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ジェンダー平等の実現を目指し、市民による男女共同参画啓発活動を維持・発展させる。				
	概要	男女共同参画ネットワークに対する活動補助および事務作業の支援を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)活動が一部中止となっているため、一部減額して補助。 (R3年度)活動状況を確認しながら、補助内容を決定する。 (R4年度)活動状況を確認しながら、補助内容を決定する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	市内17団体が連携して男女共同参画を目指した活動に対する運営を補助。		
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
役員会・理事会・委員会等の開催数		回	目標値	34	34	34	34	34
			実績値	35	19	11		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
取り組み事業数		事業	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	8	11		
計算 根拠	研修会の開催、他市町団体との交流会、県フェスタへ参加・運営協力、各種啓発活動等	達成率	100	80	110			
		実数値						
		ランク		A	B	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	270	270	250	240	240		事業タイプ	単独事業
	決算額	270	270	250	240	240		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	17	201	男女共同参画事業費(市民活躍課)	7,526	240
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	240

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ			
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ			
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある			
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点 9点~16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市内17団体が加盟するネットワーク組織が実施する男女共同参画に関する啓発事業・情報発信に対して支援を行う。
来年度の実績	男女共同参画ネットワークが実施する男女共同参画に関する情報の発信、啓発事業に対して支援を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度はコロナウイルス感染拡大防止により、大きなイベントでの啓発活動等が中止となっている。コロナ禍でも実施できるような効果のある啓発活動内容を検討していく必要がある。また、男女共同参画ネットワークの組織力をもっと生かされるような活動の工夫が必要である。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	男女共同参画ネットワークの活動を確認しながら、運営を補助していく。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	男女共同参画地域推進事業
R3年度 事業名	男女共同参画地域推進事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2003	終了年度	9999
	目的	ジェンダー平等の実現を目指し、これまで政策方針決定の場への参画の機会が少なかつた女性が、社会に対する関心を高め、男性も仕事重視の生活を見直し、現在の課題などを共に学びながら、男女共同参画社会の推進を図ることで女性の社会参画を促進していく。				
	概要	夢みらい館・さばえを拠点とし、男女共同参画社会を推進する地域リーダー養成のための社会参画講座(さんかく塾)や地域の課題に対する自主学習活動等の支援、および地域への推進のための男女共同参画啓発事業(さんかくカフェ)を開催する。また、SDGs推進センターや学校、企業、地域団体なども繋がりがながら、出前講座や推進事業を行う。				
	コロナ対応の取組	(R2年度)社会参画促進事業(さんかく塾)は、参加者を広く募集するのではなく、夢みらいWe理事(会員)や男女共同参画に関心のある有志に限定した勉強会として開催した。また、地域啓発(さんかくカフェ)は、地域へ出向いての啓発活動が困難なため、ホームページを活用した啓発活動を行った。 (R3年度)Zoomを活用した研修会、SNS(YouTube、Facebookなど)活用による啓発を実施した。 (R4年度)Zoomの活用やYouTube配信等を併用した研修会やSNSを活用した啓発事業を実施。				
	法令等根拠	鯖江市男女共同参画推進条例	実施形態	内容	夢みらいWeが市およびさばえ男女共同参画ネットワークと協働しながら実施。	
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	社会参画講座の開催回数(さんかく塾・さんかくカフェ等)		回	目標値	10	12	12	12	12
				実績値	11	16	18		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	講座・カフェの参加者数(延べ)(H23より市民主役事業)(~2019)		人	目標値	400				
				実績値	349				
	計算根拠			達成率	87				
	講座参加者数およびオンライン啓発視聴者数(2020)		人	目標値		5,100			
				実績値		5,732			
	計算根拠	さんかく塾100人+オンライン啓発視聴者数1000人×5回		達成率		112.4			
	講座・サロンの参加者数(延べ)(2021~)		人	目標値			150	240	240
				実績値			324		
	計算根拠	さんかく塾(30人×6回)、地域さんかくカフェ(10人×6回) ※オンライン限定配信視聴者含む		達成率			216		
				実績値					
				ランク	B	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	会計	一般会計
	予算額	1,894	1,894	1,870	1,650	1,870	事業タイプ	単独事業
	決算額	1,894	1,622	1,870	1,650		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費(市民活躍課)	7,526	1,870	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,870

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者等に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	地域啓発のファシリテーター役として必要なスキルを学び、地域でのSDGs推進に必要な知識を得るための学習の場として「さんかく塾」講座を開催する。また、Zoomが活用できるスキルアップを身に付け、市民同士が自分たちの住む地域について話し合う双方向対面型による活動ができるスキルアップ講座を開催する。

来年度へ向けて	R3年度「さんかく塾」5回、「夢みらいサロン」13回を開催した。また、ホームページやSNSを活用し、幅広い年齢層への意識向上の普及啓発と情報提供に努めた。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度もR2年度に引き続き、オンラインを併用した講座や啓発活動を実施。リーダー養成講座として実施している「さんかく塾」は、地域啓発のファシリテーター役としての人材育成にまで繋がっていないことが課題。地域のファシリテーターとして活躍できる人材育成に繋げていく必要がある。また、学習内容に新しいテーマを取り入れるなどの工夫により、新規参加者が増えるような工夫が重要。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 地域が抱える課題を見据えながら、新しい参加者の顔が見える研修会や講座等を市民主役事業として提案してもらいながら、引き続きSDGs推進センターや関連団体等との連携により実施していく。 R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/> CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合は、その理由 -
---------	---

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R4年度事業名	男女の社会参画促進事業(リーダー養成講座等)/男女共同参画推進運営事業(地域啓発推進事業)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 1,870

R5年度事業名	男女の社会参画促進事業(リーダー養成講座等)/男女共同参画推進運営事業(地域啓発推進事業)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 1,870

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	多文化共生事業(生活支援、多言語ガイド)
R3年度 事業名	多文化共生(生活支援)推進事業

総合戦略 体系	531	世界のめがねの聖地SABAEの確立 に向けた組織強化	人権尊重と地域連携の推進	共生社会の推進
------------	-----	-------------------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	同じ地域に暮らす隣人として地域住民と在住外国人とのあいだの相互理解を育むことで、誰もが住みやすい多文化共生のまちづくりを目指す。				
	概要	A:多文化共生事業(生活支援)、B:多文化共生事業(多言語ガイド) A① 在住外国人生活相談への通訳者等派遣事業...外国人市民が日常生活を営むうえで必要な相談支援のための通訳者等の派遣を行う。 A② 「災害弱者」になりやすい外国人市民を集めて防災意識を高めてもらうツアーを企画するとともに、BBQなどで交流する。 A③外国人コミュニティーリーダーとの連携を強化し、災害時に必要な情報が届けられる外国人ネットワークを構築する。 B①外国人市民のための生活ガイドブック作成...転入してきた外国人市民向けに、市民生活に必要な情報を多言語でお知らせするための冊子「鯖江なんでも辞典」を発行する。令和4年度は既存の英語版・ポルトガル語版・ベトナム語版・中国語版の各版のうち主要な部分を改訂・翻訳する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)A①において、学校現場での教育相談などに通訳者を派遣した。 (R3年度)A②はR2年度に中止していたが、災害に備える意識を高めるため、感染防止対策を徹底した上で実施した。 (R4年度)近年、各地で大規模災害が頻発している状況を踏まえ、感染対策に力を入れながら引き続き実施していく。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	外国人市民を対象とした防災啓発事業や、生活相談への通訳等の派遣などを、鯖江市国際交流協会に委託する。		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	外国人に対する防災対策講座等開催数	回	目標値	2	1	1	1	1	
			実績値	1	0	1			
	多言語ガイドブックの作成(更新)数	回	目標値					1	
			実績値						
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	国際交流員および通訳者等派遣人数	人	目標値	12	6	6	6	6	
			実績値	8	13	14			
	計算 根拠	※事業概要変更に伴い、指標変更(H27年度)	達成率	66.7	216.7	233.3			
			実数値						
	外国人に対する防災対策講座等の参加人数	人	目標値					15	
			実績値						
	計算 根拠	2021年度の参加者数を基に設定	達成率						
実数値									
		ランク	C	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	180	486	486	370	781		事業タイ	単独事業
	決算額	180	486	81	370			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	16	202	国際交流事業費	781	781	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	781

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	40

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ 維持

取組内容 A①②③市民主役事業として、市役所等での各種手続きに対する通訳派遣および外国人市民に防災知識を高めてもらうことを中心とした啓発事業を、市民主役事業として実施する。
B①鯖江市国際交流協会からの提案で、生活ガイドブックの英語、ベトナム語、ポルトガル語、中国語版の主要部分を改訂する。

来年度へ向けて R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題
通訳者等派遣と防災啓発事業は引き続き実施していく。生活ガイドブック「鯖江なんでも辞典」は、令和3年度に改訂した以外の4言語版について、その一部を改訂する(全8章中の2~4章)。ごみの減量など時代に即した内容を盛り込んだ実践的で読みやすいものになるよう、連携を取って行く必要がある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点
「鯖江なんでも辞典」について、令和4年度は4言語版の一部(全8章中の2~4章)を改訂したが、令和5年度は残りの章を改訂する必要がある。

R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由
生活ガイドブック「鯖江なんでも辞典」の内容を見直し、さらに見やすいものとなるよう、充実を図る。

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R4年度事業名	多文化共生事業(生活支援、多言語ガイド)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 781
R5年度事業名	多文化共生事業(生活支援、多言語ガイド)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 781

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	交通指導員支援事業
R3年度 事業名	交通指導員支援事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	警察および交通安全推進団体等と緊密な連携を取りながら、鯖江市交通指導員設置条例に基づき市長が任命した交通指導員の活動を支援することにより、交通事故防止を図る。					
	概要	市内各所の車両交通量が多い路線で、早朝または夕方街頭指導を行う。また、スポーツイベントなど市内の主要なイベントにて、市民の安全誘導を行い、交通安全思想の普及に努める。					
	コロナ対応 の取組	通行する車を停めて交通安全啓発グッズを配る「交通安全茶屋」はコロナ禍に配慮してR2～3年度は中止しているが、日常の街頭指導活動は継続している。					
	法令等 根拠 現在	鯖江市交通指導員設置条例 市直営	実施 形態	内容	条例に基づき市長が委嘱する交通指導員に対して、報酬や被服貸与等の支援を行っている。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
交通指導員の人数			目標値	40	40	40	40	40
			実績値	23	23	21		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
早朝、薄暮時の交通指導実施回数		回	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	39	32	41		
	計算 根拠		達成率	97.5	80	102.5		
			実数値					
			ランク	A	B	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,944	2,771	2,598	2,464	2,417		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,351	2,385	2,215	2,240			経費区分	人件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	9	201	交通安全対策諸経費	9,219	2,417	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,417

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.35
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
	9点~16点
	維持または事務改善
	維持
	維持

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	取組内容 鯖江市が委嘱した交通指導員が市内の交通安全を保持するための活動に対して報償費・被服の貸与等の支援を行う。また併せて交通指導員募集に関する広報を行う。
来年度の実績	交通指導員については、R3年度中に2人が退会し、R3年度末で21名となった。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	現在活動中の交通指導員の高齢化が進んでおり、今後、減少していくことが懸念される。また、近年の猛暑・酷暑による体調不良なども危惧される状況である。若い世代の交通指導員を見つけていることが課題である。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	交通指導員の活動等について、市交通指導員会の皆さんと話し合いを行い見直し・検討を行うことで、持続可能な交通指導員活動の構築を図っていく。
R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	交通指導員会運営補助事業
R3年度 事業名	交通指導員会運営補助事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999	
	目的	各種交通安全啓発事業を行う鶴江市交通指導員会に対し補助金を交付することにより、活動事業の推進を図る。					
	概要	街頭指導のほか、カーブミラー清掃、交通安全茶屋の開設等の事業に対し、活動補助として補助金を交付する。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度)小学生、高齢者への啓発活動、つつじマラソンの交通整理など一部事業が中止になった。 (R3年度)つつじマラソンの交通整理など一部の事業が中止になった。 (R4年度)カーブミラー清掃やシートベルト啓発、高校駅伝大会での交通整理や無謀運転監視といった自主事業は実施できていることから、引き続き実施可能な自主事業を実施する。					
法令等 根拠		実施 形態	内容	交通指導員会の運営補助			
現在	補助金等交付						

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
交通安全イベント等の開催回数		回	目標値	18	4	4	10	10
			実績値	20	8	14		
計算 根拠	交通安全イベントの件数(小学生・高齢者への指導・啓発、安全茶屋、カーブミラー清掃、シートベルト啓発、駐車パトロール、つつじマラソン、防災訓練、無謀運転監視、県駅伝)		達成率	111.1	200	350		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	360	360	360	324	370		事業タイプ	単独事業
	決算額	360	360	270	324			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	9	601	交通安全協会補助金等	620	370	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	370

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 市が委嘱している交通指導員で構成される会が実施する、交通安全茶屋やカーブミラー清掃など交通安全保持のために必要な交通安全啓発に関する活動に対し支援を行う。

来年度の実績 R3年度 東京五輪聖火リレー街頭警備(1回)、駅伝選手権大会での交通整理(2回)、小学校での交通安全教室補助(6回)、カーブミラー清掃(1回)、運転シミュレーターを活用した自主研修会(1回)、鯖江市交通指導会創設50周年記念式典。また、なり手不足の改善も視野に入れた活動の合理化を目指して例会の回数を計4回と半減させた。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度についてはコロナにより小学生・高齢者への指導啓発やつつじマラソンなどの出勤は減少したが、カーブミラー清掃やシートベルト啓発、無謀運転監視などの自主事業は実施できている。また、交通事故0に向けて小学生・高齢者への指導啓発は重要であることから、引き続き積極的に自主事業を実施する必要がある。交通指導員の高齢化が懸案事項。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 交通指導員の減少傾向も踏まえ、交通指導員の日常の活動や指導員会の運営等について、指導員の皆さんと話し合いを行い見直し・検討を行うことで、持続可能な交通指導員会活動の構築を図っていく。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	交通安全協会補助事業
R3年度 事業名	交通安全協会補助事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	交通事故の防止を図るための啓発、広報、教育活動を行う鯖江交通安全協会に、補助金を交付することにより、交通安全の保持と交通安全思想の普及を図る。				
	概要	交通道德の高揚、交通事故防止等の啓発・広報				
	コロナ対応の取組	(R2年度)感染状況により一部事業が実施できなかったため、補助金額を減額して執行した。 (R3年度)実施予定の事業がコロナにより行えない状況から、R2に引き続いて補助金額を減額して執行した。(R4年度)コロナで実施できていなかった事業「子どもの自転車大会」を3年ぶりに実施する予定。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	交通安全協会の活動に対する補助		
現在	補助金等交付					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
小・中学校新入生に交通安全腕章の贈呈		回	目標値			1	1	1
			実績値			1		
計算 根拠	安全教室等の開催回数(小中高年生、幼児、保護者、高齢者、自転車教室) H23より交通安全教室の内容の見直しを行いH24より目標値が変更となった。コロナ禍により安全教室が開催されないため目標値を変更	達成率			100			
		実数値						
		ランク		C	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	450	450	450	250	250		事業タイプ	単独事業
	決算額	450	450	270	250			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	9	601	交通安全協会補助金等	620	250	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	250

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 警察所管の交通安全協会に対し、小中新1年生への交通安全グッズの配布、子ども自転車大会、運転者講習会開催等の活動に対し補助金を交付する。当協会との連携を密にして、交通安全教室等の開催数の増加に向けて働きかける。

来年度の実績 R3年度の事業については、コロナ禍のため一部事業が中止となった。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 昨年度に中止となった子ども自転車大会について、R4年度は実施の見通し。大会を通し、自転車を安全に乗る機運が広まっていくことが期待される。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名	交通安全教室開催事業
R3年度 事業名	交通安全教室開催事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	交通安全教室を開催し、交通事故の防止と交通安全教育の徹底を行うとともに、幼児・高齢者用広報ポスター等を配布し、交通安全思想の普及を図る。				
	概要	交通安全教育指導員(2名)により幼児・児童および高齢者を対象に交通安全教室を開催し、交通事故の防止と交通安全教育の徹底を行う。また、交通安全の啓発用ポスターやチラシを作成し、交通安全思想の普及に努める。				
	コロナ対応の取組	(R2年度) 幼児、小・中学校、高齢者の交通安全教室が予定どおり開催できなかったため、何度も予定を組みなおして、可能な限り実施した。 (R3年度) 交通事故を減らすためには交通安全教室の開催は必要であるため、感染状況に応じた教室を考えて実施した。緊急事態宣言で教室が開催できなかった園には動画を作成して、交通安全教室を体験してもらった。 (R4年度) 県内の感染状況に応じて、交通安全教室を開催する予定				
法令等 根拠	交通安全対策基本法、福井県交通安全実施計画	実施 形態	内容	交通安全教育指導員(2名)が主体となって、鯖江警察署や交通指導員会等と協力して、交通安全教室を開催している。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	交通安全啓発チラシ・ポスターの作成		回	目標値	30	30	30	95	95
				実績値	45	92	93		
	幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室開催数		回	目標値	190	50	50	130	140
				実績値	171	98	130		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	交通安全教室等の参加者数		人	目標値	15,000	6,000	6,000	9,000	9,000
				実績値	9,425	5,483	9,499		
計算 根拠	幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室参加者数および出前講座参加者数		達成率	62.8	91.4	158.3			
			実数値						
			ランク	C	B	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,007	5,172	5,585	5,253	5,826		事業タイプ	単独事業
	決算額	4,838	4,450	5,033	4,829			経費区分	人件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	9	201	交通安全対策諸経費	9,219	5,826
2							
3							
4							
5以降							
合計							5,826

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	2
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 交通安全教育指導員2名で、市内の保育園・小中学校や高齢者サロン等を対象に交通安全教室を開催する。また、就学前園児の保護者向けに交通安全教室を開催する。交通安全思想の普及の一環として、年齢層に応じたチラシや反射材等の交通安全啓発グッズの配布を行う。今年度から、小学校での交通安全教室を一部の学年から全学年に変更する。

来年度の実績 R3年度の事業については、コロナ禍のため一部教室事業が中止となった。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 令和3年度は、小・中学生、幼児(保育園・幼稚園等)対象の教室はほぼ実施できた。高齢者においては、新型コロナウイルス感染の状況からほぼ中止となってしまった。令和4年度も、交通事故を減らすためにも交通安全教室は重要であることから、感染状況に応じた教室を開催する。*

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 交通安全対策推進事業に統合する。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	交通安全対策推進事業			
R3年度 事業名	交通安全対策推進事業			
総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	年4回行われる交通安全県民運動を実施し、交通事故防止、交通安全思想の普及と交通安全意識の高揚を図る。					
	概要	交通事故防止対策協議会および部会を開催し、市内の交通安全推進団体や公共的団体と連携した交通安全市民運動を実施し、啓発用チラシ等の作成・配布により、交通事故防止を呼び掛け、交通安全思想の普及と意識の高揚を図る。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) コロナの影響で対策協議会も啓発活動が実施できていない。 (R3年度) 交通安全の意識を高めるため啓発は必要であることから、対面での啓発ではなく、コロナ対策を講じた啓発を考え実施した。 (R4年度) 感染症対策を講じながら、街頭啓発活動を実施する予定					
	法令等 根拠	交通安全対策基本法、福井県交通安全実施計画	実施 形態	内容	全体会を年1回、部会を年1回開催し交通安全県民運動に参加している。		
現在	市直営						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	交通安全市民大会等イベント開催	回	目標値	4	4	3	3	3	
			実績値	4	3	3			
	交通対策協議会等の開催	回	目標値	2	1	1	1	1	
			実績値	1	-	-			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	交通安全イベント参加者数	人	目標値	150	150	150	150	150	
			実績値	146	40	152			
	計算 根拠	交通安全県民運動における啓発活動参加者数	達成率	97.3	26.7	101.3			
			実数値						
			ランク	A	C	A			
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	565	223	227	199	426		事業タイプ	単独事業
	決算額	555	166	68	60			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	9	201	交通安全対策諸経費	9,219	426	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	426

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.4
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒	維持
取組内容	鯖江市交通対策協議会参画団体らとの協働により、市内量販店を中心とした交通安全街頭啓発を実施していくほか、部会の開催を予定している。
来年度の実績	R3年度は、交通安全啓発は必要であることから、感染対策を講じた、福井県交通安全県民運動に併せ、啓発活動行なった。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	交通安全県民運動に併せて、啓発活動を新型コロナウイルス感染症対策を講じながら継続する。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	交通安全教室開催事業に統合する。
R5方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	融和と協働のまちづくり(区長会への交付金)事業
R3年度 事業名	融和と協働のまちづくり(区長会への交付金)事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	区長会連合会、地区区長会、町内会が自主的に取り組む、「歴史、伝統、文化、生活、産業、自然、環境などの地域資源を活かした事業」、「地域活性化に資する事業」に対し交付金を交付し、個性的な地域づくりや地域の活性化を推進する。また、自らが交付金の有効活用のため知恵を出し合うことにより、地域の自立を促す。				
	概要	主に「1連合会交付金」「2地区交付金」「3町内交付金」の3つから構成され、2～3については、使用目的を定めない交付金の利点を活かして地区や町内で自由に活用されている。また、住民参加によるまちづくりを推進するため「花によるまちづくり交付金」「まちづくり応援団交付金」「十区色づくり交付金」を交付する。				
	コロナ対応の取組	(R2年度) コロナ禍により大規模イベントの開催はできないため、イベント以外に他のまちづくり事業に交付金を活用してもらうことを提案中。 (R3年度) コロナ禍により大規模イベントの開催はできないため、区長会連合会の意向も踏まえ、イベント開催に特化したような交付金は一部休止とした。 (R4年度) 特になし				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	各種係数を元に交付対象者に交付する交付金の額を計算。申請者からの申請により交付している。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	まちづくりイベントを開催している地区数		地区	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	10	10		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	10地区の主なまちづくりイベントの参加者数		人	目標値	100,000	100,000	100,000	20,000	40,000
				実績値	77,030	14,702	16,525		
	計算 根拠	一人ひとりが積極的にまちづくり活動に参加してもらう。H24から「うるしの里まつり」分を除外する。		達成率	77	14.7	16.5		
				実数値					
			ランク	C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症対策のため、事業を活発にできなかったため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	77,660	77,810	77,910	73,982	78,753		事業タイ	単独事業
	決算額	76,160	77,810	77,660	72,982			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	14	202	融和と協働のまちづくり事業費	95,553	78,753
2							
3							
4							
5以降							
						合計	78,753

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 事務改善
取組内容	地域活性化に資する事業に対し交付金を交付し、個性的な地域づくりや地域の活性化を推進する。また、民営化型となった「花によるまちづくりコンクール」等を通じ、より市民参加を促すよう積極的に支援する。
来年度へ向けて	R3年度の実績 区長会連合会の意向も踏まえ、イベント開催に特化したような交付金は一部休止とした。また交付金の用途等についても対象を広げ、地区・町内におけるコロナ対策等にも活用できるよう見直しを行った。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 コロナ禍により大規模イベントの開催はできないため、イベント以外に他のまちづくり事業に交付金を活用してもらうよう十区色づくり交付金を新設した。R3年度の経験を契機に、各地区等でイベント重視の考え方からの脱却を図り、地域課題に応じたきめ細やかなまちづくり活動への移行を模索、検討していく。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 ウイズ・コロナ、アフター・コロナ時代に対応できるまちづくりを支援するために十区色づくり交付金を活用してもらう。 R5方向性⇒ 維持 CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	鯖江市日中友好協会事業補助金		
R3年度 事業名	鯖江市日中友好協会事業補助金		
総合戦略 体系	531	世界のめがねの聖地SABAEの確立 に向けた組織強化	人権尊重と地域連携の推進 共生社会の推進

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民団体による国際交流事業を支援することで、市民が企画し実施する国際交流事業を推進し、多様な文化に対する理解と個性や独創性を育むとともに、国際性豊かな人材の育成を図る。				
	概要	鯖江市日本中国友好協会の自主的な交流活動に対して補助する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 在住中国人とのリアルな交流会の開催を予定していたが、在住中国人に対する生活支援活動に切り替えて実施した。 (R3年度) 在住中国人とのリアルな交流会の開催を予定していたが、在住中国人に対する生活支援活動に切り替えて実施した。 (R4年度) 感染防止対策を徹底した上で、リアルによる交流会開催も視野に活動を進める。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	申請者(鯖江市日中友好協会)からの申請に基づき、補助金を交付する。	
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
協会が実施する交流事業の数(日中友好訪中団、在住外国人との交流事業等)		事業	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3	1	2		
計算 根拠			達成率	150	50	100		
			実数値					
				ランク	A	C	A	
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	270	270	600	270	270		事業タイプ	単独事業
	決算額	270	270	270	270			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	16	601	国際交流事業補助金	3,120	270	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	270

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒	維持
取組内容	協会関係者との対話・連携を深めるとともに、団体の自発性を活かしながら支援を継続する。40周年記念事業の企画作成と併せて、コロナ禍でも実施できるような節目の取り組みを進めていく。
来年度へ向けて R3年度の実績	協会関係者との対話・連携を深めるとともに、コロナ禍の状況を踏まえ、団体の自発性を活かしながら支援を継続した。春節に合わせた事業に加え、東京五輪に伴う体操団体競技のパブリックビューイング企画に協力した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	訪中団事業は中止の予定。R4年度は福井県日中友好協会設立70周年、日中国交正常化50年の節目にあたることから、協会のアピールも兼ねた取り組みをしていく必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	コロナ禍の長期化を受けて、在住中国人に対する生活支援活動に引き続き取り組む。訪中団事業が行えない場合も、日中友好の灯を消さない取り組みを実施して行く必要がある。
R5方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	安全で安心なコミュニティづくり補助事業(防犯灯設置補助)
R3年度 事業名	安全で明るいまちづくり補助事業(街路灯整備)

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	防犯灯の整備を図り、当該地域内での防犯面の安全性を高めるとともに、明るく住みよいまちづくりを進める。				
	概要	町内会や地区区長会が実施する防犯灯整備事業に対して、新設一灯につき要した費用の2/3以内で15,000円限度、取替一灯につき要した費用の1/2以内で10,000円限度、ポール設置一本につき要した費用の1/2以内で40,000円限度にて助成する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	申請者(街灯の設置者)からの申請に基づき、補助金を交付する。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
防犯灯設置実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成率	100	100	100		
計算 根拠	設置数/設置申請数×100		実績値	64/64	42/42	57/57		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,350	1,200	1,200	1,200	1,300		事業タイ	その他
	決算額	1,022	1,016	631	1,036			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	202	融和と協働のまちづくり事業費	95,553	1,300	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,300

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
12	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 LED化する防犯灯の管理を区長会と連携しながら協働管理していく。
また、リース期間が終了する防犯灯の令和7年度からの管理方針について、情報収集等を始める。

来年度の実績 R3年度 設置申請のあった防犯灯について100%設置できている。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題
今後も「安全で安心なまちづくり」を目指し、LED化する防犯灯の設置を進めていく。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点
令和6年度末のLED防犯灯リース期間終了を見越し、R4年度から情報収集を行い、区長会連合会とも全体の方針決定に向け、検討を始める。防犯カメラの補助金については、県の補助が終了予定のため、区長の意向を聞きながら安全で安心なコミュニティづくり補助金とあわせて交付を行う。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	安全で安心なコミュニティづくり補助事業(住民参加で雪に強く快適なまちづくり事業)
R3年度 事業名	住民参加で雪に強く快適なまちづくり事業

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	住民と行政が協働の中で除排雪を行うことにより、地域住民のコミュニティの促進と「雪に強く快適なまちづくり」の推進を図る。				
	概要	①除排雪市民協働補助金(@30円×市道延長(m)×実施回数) ②雪置き場支援補助金(固定資産税・都市計画税×2/12)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	申請者(町内会)からの申請に基づき、補助金を交付する事務である。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
除雪路線に対する補助対応率		%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	0	100	100		
			達成率	0	100	100		
計算 根拠			実数値	0/0	21/21	25/25		
			ランク	-	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,400	1,400	1,400	2,920	1,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	105	0	1,657	2,920			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	8	2	2	203	道路除雪費	330,821	1,000
2							
3							
4							
5以降							
合計							1,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ 事務改善	取組内容 各町内区長からの継続要望も強くあり、継続して支援していく。
来年度の実績	R3年度は比較的降雪量も多く、補助金を活用し除雪を行った町内が多かった。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度は降雪が多く、予算額が例年になく膨らんだ。毎年の降雪状況により、決算額が大きく変動することから、予算は土木課へ移管した。事務は引き続き市民生活課が行うが、事務の移管についても検討していく。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	補助制度としては継続するものの、予算はすでに土木課へ移管されていることから、事務についても土木課と引き続き協議していく。
R5方向性⇒ 事務改善(業務プロセスの改善)	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	若者による地域活性化推進事業		
R3年度 事業名	若者による地域活性化推進事業		
総合戦略 体系	211	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	・地域の将来を担う若者たちが連携し、地域において自主的に活動する。 ・市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。				
	概要	市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進するため、地域の将来を担う若者たちが連携して鯖江の未来像を提案する場を設け、実現に向けて活動できる事業を実施する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) オンライン開催、参加人数を大学(院)生30人から18人に縮小。 (R3年度) オンライン開催、参加人数は大学(院)生18人、高校生10人の合計28人。 (R4年度) オンライン開催も準備しつつ、リアル開催の準備をしている。リアル開催時には「イベント開催時における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(鯖江市)」に基づいた運営とする。				
	法令等 根拠	なし	実施 形態	内容	地元大学生および過去の地域活性化プランコンテストの参加者が中心となって、地元住民や関係機関・団体と協働して実施する。	
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
活動日数			目標値			50	50	50
			実績値			50		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
プレゼンテーション参加学生数	人		目標値	30	18	30	30	30
			実績値	30	18	28		
計算 根拠			達成率	100	100	93.3		
			実数値					
			ランク	A	A	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	大学生版参加者は書類選考の結果、定員のとおりの18名、高校生版参加者は初めての開催かつコロナ禍で地元高校へ積極的な広報を出せず想定より2名減の10名。							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	800	1,350	480	600	1,800		事業タイ	単独事業
	決算額	800	1,222	480	600			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	214	学生連携事業費	5,400	1,000	
2	2	1	14	214	学生連携事業費	5,400	300	
3	2	1	14	214	学生連携事業費	5,400	500	
4								
5以降								
							合計	1,800

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない									
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ										
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み										
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計点数</th> <th>点数区分</th> <th>次年度方向性の目安</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12</td> <td>0点~8点</td> <td>事務改善または廃止・休止</td> <td rowspan="2">維持または事務改善</td> </tr> <tr> <td>9点~16点</td> <td>維持または事務改善</td> </tr> </tbody> </table>	合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定	12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善	9点~16点	維持または事務改善
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定							
12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善							
	9点~16点	維持または事務改善								

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 維持
取組内容	「鯖江市地域活性化プランコンテスト」と称して実施する当該事業は、令和3年度より「大学生版」「高校生版」の2つの事業に分け、参加学生の満足度も高かったことから、令和4年度も「大学生版」「高校生版」を実施する。また、令和3年度の提案プランであった「めがね婚プロジェクト(大学生版)」「交流寺プロジェクト(高校生版)」は、令和4年度提案型市民主役事業として官民連携し事業化に向けて取り組む。
来年度へ向けて	R3年度の実績 コロナ禍で様々な企画が中止になっている中、新しいチャレンジとして地元高校生を対象にした「高校生版」を初開催し、10名から3提案を得た。また、「大学生版」は各種会議ツール等を使用してオンラインで開催し、18人から6提案を得た。提案プランのうち「めがね婚プロジェクト(大学生版)」「交流寺プロジェクト(高校生版)」は、令和4年度提案型市民主役事業として官民連携し具現化に向けて取り組む事業となり、高い事業効果を得た。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 コロナ禍であっても事業効果を失うことなく柔軟な事業実施に対応できており、令和4年度もコロナ禍に対応した準備を進めている。一方で、2年間オンラインによる開催であったため、コロナ以前のような「実際に鯖江を訪れた参加学生」が後輩等に体験・感想を交えた口コミによる広報宣伝ならびに募集が難しくなっている。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 上記課題の解決のため、事業用WEBサイト内に「参加者の声」などを増やし、アフターコロナにおいても、鯖江市に多くの若者が興味を持ってもらう仕掛けを継続する。提案型市民主役事業として開催してきた地域活性化プランコンテストは今年度で15回目を終え、学生連携によるまちづくりの一つの柱として成長続けてきた。秀逸なプランに対しては、事業化のため、事業担当課が翌年度に向け予算要求していく。 R5方向性⇒ 事務改善(業務プロセスの改善) CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R4年度事業名	若者による地域活性化推進事業	市民主役事業にかかる額(単位千円):	1,000
R5年度事業名	若者による地域活性化推進事業	市民主役事業にかかる額(単位千円):	1,000

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	ふるさと鯖江の日記念事業
R3年度 事業名	ふるさと鯖江の日記念事業

総合戦略 体系	244	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	先人が築いた歴史、伝統、文化、産業、そして豊かな自然とすばらしい環境など、これらすべての財産を市民のかけがえのない「宝」として永遠に守り育て次世代に引き継ぎ、愛着を深めていくために、鯖江市が誕生した日である1月15日を「ふるさと鯖江の日」と定め記念事業を開催する。				
	概要	各課が実施する記念式典、記念イベントの開催を通じ、先人の功績やふるさとの「宝」に触れる機会を提供し、これらを活用した市民の自発的なふるさとづくり運動を推進することをコーディネート(全体)する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)自衛隊コンサート、ふるさと料理を楽しむ会は中止。令和3年3月に「ふるさと鯖江の日記念コンサート」として実施した。 (R3年度)ふるさと料理を楽しむ会は中止。要望の多い自衛隊コンサートについては、コロナウイルスの感染状況等から中止となった。 (R4年度)感染状況を見極めながら、事業実施について検討する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	記念式典・表彰部門(行政管理課、教育政策課、文化課担当)と、故郷の食を楽しむ会(農林政策課担当)、およびアトラクションの3つの部門に別れており、全体調整を市民活躍課が担当		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
「ふるさと鯖江の日」記念事業参加者数		人	目標値	600	600	-	460	460
			実績値	1,000	500	-		
計算 根拠	事業への自発的な参加者数を増やすことで、事業への市民理解が高まる。		達成率	166.7	83.3			
			実数値					
			ランク	A	B	-		
前年度 ランク B、Cの 理由	記念行事を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、記念行事は、市役所において表彰式のみ実施した。							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	693	0	0	420	500		事業タイプ	単独事業
	決算額	657	0	0	50			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	1	210	ふるさと鯖江の日記念事業費	500	500	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	500

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input checked="" type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ふるさと鯖江の日記念事業を各課が連携し開催する。 ・表彰部門(行政管理課) ・記念コンサート(市民活躍課) ・ふるさと料理を楽しむ会(農林政策課)
来年度の実績	コロナ禍のため、自衛隊コンサートは中止となった。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	自衛隊コンサートは、大人数が参加するイベントだけに、新型コロナウイルスの感染拡大が疑われる状況下では、実施することは難しい。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	鯖江市には自衛隊の鯖江駐屯地があり、協力体制の維持強化の観点からも事業継続が望ましい。さらに、自衛隊コンサートは市民に根強い人気があり、「吹奏楽のまち鯖江」のシンボリックなイベントとなっている。コロナ禍の状況を見極めながら、実施について検討していく。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	サバヲシ總會事業
R3年度 事業名	サバヲシ總會事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	市民主役条例推進委員会からの第三次市民提案(平成28年7月26日付け)に基づき、より幅広い層の市民が「自分も市民の一員(主役)だ」と思ってもらえるような集会「サバヲシ總會」を実施することで、市民主役のまちづくりにおける市民の理解浸透と底辺拡大を目指す。				
	概要	これまで個別に実施してきた「市民主役フォーラム」「さばえ未来会議」を統合し、「市民主役のまちづくり」の事業や成果を市民がストレートに実感でき、市民自身でも評価するような事業に組み替える。市民主役事業に関する経過報告、テーマ別ワークショップ、市民主役のまちづくりに関する総合的啓発・交流イベントを実施する。				
	コロナ対応の取組	(R2年度)多数の市民が参加する集会的型での実施は難しいため、オンライン配信も含むハイブリッド開催で実施した。 (R3年度)オンライン配信とのハイブリッド開催となった令和2年同様、新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分配慮した形で、提案型市民主役事業として引き続き実施した。 (R4年度)新型コロナウイルスの感染拡大防止を十分配慮した形で、「市民主役EXPO」と連携して実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	提案型市民主役事業により、認定NPO法人さばえNPOサポートに委託し、民間団体とも協力して開催する。		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	サバヲシ總會(市民主役フォーラムおよびさばえ未来会議含む)開催回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	-	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	参加者数		人	目標値	250	250	250	250	200
				実績値	-	100	47		
	計算 根拠	H24~H28:市民主役フォーラム、H29:サバヲシ總會(市民主役フォーラムおよびさばえ未来会議含む)		達成率	-	40.0	18.8		
				実数値					
		ランク		-	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	年末から年度末までの期間は、新型コロナウイルスの第6波の感染拡大期にあり、大規模な集客を伴うイベントが開催できなかった。市民活動に関するアンケートの実施など、形態を変えて実施したため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	400	400	410	250	250		事業タイプ	単独事業
	決算額	400	168	400	250			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	211	民間活力推進事務諸経費	5,350	250	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	250

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない									
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ										
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み										
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計点数</th> <th>点数区分</th> <th>次年度方向性の目安</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">11</td> <td>0点~8点</td> <td>事務改善または廃止・休止</td> <td rowspan="2">維持または事務改善</td> </tr> <tr> <td>9点~16点</td> <td>維持または事務改善</td> </tr> </tbody> </table>	合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定	11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善	9点~16点	維持または事務改善
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定							
11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善							
	9点~16点	維持または事務改善								

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	引き続き、より幅広い層の市民が「自分も市民の一員(主役)だ」と思ってもらえるような集会「サバマシ総会」を実施し、底辺拡大を図る。
来年度へ向けて	R3年度 新型コロナウイルスの感染拡大のため、オンライン参加とのハイブリッド方式で実施した。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R4年度は、新規事業である「市民主役EXPO」と同時期に行うことで、新たな層の市民の巻き込みと参加者増を図る。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R4年度事業名	サバマシ総会事業(民営化型含む)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="250"/>

R5年度事業名	サバマシ総会事業(民営化型含む)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="250"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	市民まちづくり応援団養成講座
R3年度 事業名	市民まちづくり応援団養成講座

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	地区におけるまちづくりに意欲のある人のうち、人材の掘り起こしや、持続可能な地域運営の基盤づくり、人と人をつなげるコーディネートに興味のある人材を発掘し、人材育成を図る。				
	概要	市民主役条例推進委員会地域自治部会が中心となり、地区のまちづくりに関して、人材育成や組織運営、人の和づくりなどに関する内容の講座「市民まちづくり応援団養成講座(全市版・地区版)」をワークショップ形式で開催する。発掘した人材を「市民まちづくり応援団コーディネーター」としてグループ化し「応援団」を結成。人材登録をし、地区独自のまちづくりに活用していただく。				
	コロナ対応の取組	(R2年度) 令和2年2月末・3月初めに実施予定の会合および研修会については、新型コロナの感染防止の観点からやむなく中止となった。 (R3年度) 会議ではソーシャルディスタンスをとり、講師はオンラインで講演してもらうなど、三密を避けながら事業を実施した。 (R4年度) 会議ではソーシャルディスタンスを保ち、講師はオンラインで講演してもらうなど、三密を避けながら事業を実施する。				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(全部)	実施 形態	内容	市民主役条例推進委員会地域自治部会、区長会連合会等との協働により実施する。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	市民まちづくり応援団養成講座の講座開催回数		回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	2	4	4		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	講座参加者数		人	目標値	50	50	50	75	75
				実績値	54	130	114		
	計算 根拠	養成講座の修了生を「公式サポーター」として人材登録し、地区のまちづくりに活用していただくことで、地域コミュニティの活性化が図られる。		達成率	108	260	228		
				実数値					
		ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	650	200	204	190	192		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	650	67	204	190			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	14	211	民間活力推進事務諸経費	5,350	192	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	192

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	集落活性化支援事業補助金	95
2		
3		
4		
5以降		
合計		95

事業要員	正規職員	0.4
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	各地区のまちづくり応援団養成講座受講者を対象とした全市版養成講座を行い、各地区での課題や現状などの情報共有を図る。「融和と協働のまちづくり交付金」に統合した「市民まちづくり応援団活動支援事業」については、全地区の応援団への支援策として、地区住民の自主性を引き出しながら引き続き実施する。
来年度へ向けて	R3年度実績 市内10地区において市民まちづくり応援団養成講座修生の活動を、情報交換会や研修の実施を通じ支援した。一部、県外講師等はオンラインで参加した。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 市民主役条例推進委員会に市民主役事業として委託しており、委員会の発想により既定の事業を実施している。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	実施	実施	実施	未実施

R4年度事業名	市民まちづくり応援団養成講座	市民主役事業にかかる額(単位千円):	190
R5年度事業名	市民まちづくり応援団養成講座	市民主役事業にかかる額(単位千円):	190

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	市民主役支援利子補給制度
R3年度 事業名	市民主役支援利子補給制度

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	市内の市民団体等が国・県・公益団体等の委託や助成を受けやすくし、公益的事業に積極的に取り組んでもらうことを通じ、「市民主役」の担い手づくりを推進する。				
	概要	市民団体等が国や県・公益団体等から委託や助成等を受けて公益的な事業を行うにあたり、委託金や助成金が交付されるまでの間、つなぎ融資を利用する場合に、当該融資に係る利子に相当する額を交付することで、市民団体等が交付金事業に応募しやすくすることを旨とする。※利率4%相当額を上限とする。				
	コロナ対応 の取組	特になし。				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	つなぎ融資を受けた団体に当該融資に係る利子に相当する額を補助金として交付する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
市内のNPO法人等へのPRちらしの送付回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	0		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
該当する団体への補助金交付率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	0	0		
計算 根拠	利子補給を行った団体数÷つなぎ融資を受けた団体数	達成率	100	0	0			
		実数値	1/1	0	0			
		ランク		A	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	利子補給を要する事業を実施する市民団体がいなかったため							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	180	180	180	105	105		事業タイプ	単独事業
	決算額	91	29	0	0			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R4年度事業名		予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	14	601	市民協働まちづくり基金事業費		4,105	105
2								
3								
4								
5以降								
							合計	105

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	
合計 点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	引き続き市民団体向けに情報提供を行い、制度の利用を促すことで、国等から補助金を受けられるような規模の大きい事業を行える市民団体の底辺拡大とその支援を行う。
来年度の実績	令和3年度は、制度の利用申請団体がなかった。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	国等から事業委託を受ける団体の有無が事業の成果と直結している。利子補給制度のPR自体は継続して進めることとしたい。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	<input type="text" value="休止"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	めがねのまちさばえ探究活動事業			
R3年度 事業名	高校生・大学生との学生連携事業			
総合戦略 体系	211	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	学生連携事業

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	将来の鯖江市を担う地元の高中生や大学生が、住むだけのまちから何かをしたいと思えるまちへと意識の変化が芽生えることを目指すとともに、連携協定を結んでいる大学の学生等と連携して、鯖江市の認知度向上を図る。				
	概要	令和元年6月、鯖江商工会議所とともに相互連携協定を結んだ福井県立鯖江高等学校の取組みである「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に基づき、授業への講師の派遣、紹介等の協力を行う。 また、連携協定を結んでいる大学の学生の受け入れや大学が開催しているホームカミングデー等の催事において、学生と一緒に本市の紹介および地場産業・地場産品のPR等を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 鯖江高等学校:原則オンラインを活用した探究学習への協力。 明治大学:ホームカミングデーはオンライン出店、設立者出身地交流は不開催。 (R3年度) 鯖江高等学校:可能な場合、対面での探求学習への協力。 明治大学:ホームカミングデーはオンライン出店、設立者出身地交流はオンライン開催。 (R4年度) 鯖江高等学校:感染状況に応じた探求学習への協力。 明治大学:ホームカミングデー、設立者出身地交流は状況に応じてオンライン開催。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	連携大学でのホームカミング等で、学生と協力して行う「めがねのまちさばえ」のPR活動		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	鯖江高等学校との連携協定にかかる連絡協議会開催		回	目標値	3	3	3	2	2
				実績値	3	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	鯖江高等学校の地域連携プログラムに対するサポート件数		件	目標値	6	4	6	10	10
				実績値	6	3	14		
計算 根拠	1学期2件のサポート		達成率	100	75	233.3			
明治大学ホームカミング等への来場者数		人	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
			実績値	4,120	-	6,106			
計算 根拠	明治大学ホームカミングデー参加者数(鯖江市ブースのみの人数の掌握はできない)		達成率	103		152.7			
			実績値						
			ランク	A	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,000	123	301	40	1,500		事業タイプ	単独事業
	決算額	776	110	0	28			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	14	214	学生連携事業費	5,400	1,500
	2							
	3							
	4							
5以降								
							合計	1,500

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
5以降			
		合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者等に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 事務改善
取組内容	<p>鯖江高等学校とは、連携協定に基づいて文科省の支援が終了した「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」への継続的なサポートを行い、地域の関心を高めながら、探究活動の継続と発表の場の創出する事業を盛り込んだ。</p> <p>明治大学とはコロナ禍を契機に、今まで活かせていなかった3人の大学創業者出身地間での新たな連携に着手する。また、連携協定を結んだ効果や事業成果が市民に認知されておらず、市民の関わる余地が少なかった点を改善するため、公開講座を実施する。</p>
来年度へ向けて	<p>R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題</p> <p>令和3年度については、十分な感染対策を講じた上で鯖江高等学校での講義開催支援や学生との交流が可能となった。一方で、首都圏にある明治大学とは従前の事業再開が見込めないため、以前より要望していた設立者の出身地間(鳥取市、天童市、鯖江市)でオンライン意見交換するなど事業内容を変更した。令和4年度については、鯖江高等学校への積極的な支援事業を新規創設し、学生の探究活動を継続してサポートする。また、明治大学から講師を招いた公開講座を市内開催する事業を新規創設した。個別に動いていた鯖江高等学校・明治大学との連携を市がハブとして包括的に行い、事業効果を高められるかが課題である。</p> <p>実績と課題を踏まえたR5年度の変更点</p> <p>鯖江高等学校の文部科学省所管の高校教育改革推進事業が令和3年度で終了したが、令和4年度から実施する連携事業の効果を高めていくことが必要である。市と鯖江高等学校の双方が提供できる価値、提案できる関係性を強固にし、地元高校生から「どういったまちに住みたいか」などを受けて協働を進めていきたい。明治大学からはその協働や事業形成に対する学術的な支援を受けたり、出身地間の交流事業をスタートさせるなど新たな連携事業としての実施を目指す。</p> <p>R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)</p> <p>CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由</p>

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	運転免許自主返納支援事業
R3年度 事業名	運転免許自主返納支援事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	高齢者の運転免許証の自主返納を支援し、近年増加する高齢者が加害者となる交通事故を減少させることを目的とする。				
	概要	運転免許を自主返納した高齢者の交通災害共済掛金を助成する(H25年度～)。 コミュニティバスの無料乗車券を発行する(H19年度～)。				
	コロナ対応 の取組	(令和2年度)事業PRについて、新型コロナウイルスの感染拡大により老人クラブやサロン等が開催できず、予約されていた交通安全教室もキャンセルとなったが、年度途中からは、教室の予約は回復傾向にあり、チラシなどでPRを続けた。 (令和3年度)引き続き感染防止に配慮した教室等を実施し、併せて自主返納についての説明も積極的に行った。 (令和4年度)引き続き新型コロナウイルス感染防止に配慮した教室等を実施し、併せて自主返納についての説明も積極的に行っていく。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	運転免許を自主返納した高齢者の交通災害共済掛金(1人500円)を助成する。		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
高齢者の交通安全教室の開催		回	目標値	60	60	60	40	40
			実績値	23	11	10		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
交通災害共済加入金の助成者数		人	目標値	880	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	935	1,042	1,098		
計算 根拠			達成率	106.3	104.2	109.8		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	417	421	510	534	550		事業タイプ	単独事業
	決算額	360	421	467	521			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	9	201	交通安全対策諸経費	9,219	550	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	550

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 運転免許自主返納者のうち希望者に対し、①交通災害共済掛け金の永年無料化、②つづじバスの無料乗車券の永年交付により、高齢者の自主返納をより一層促進し、交通事故減少につなげる。
また、関係機関・団体等との連携により、自主返納者向けのサービス内容充実を図る。

来年度の実績 R3年度 高齢者の車の事故についての報道等により自主返納の件数は増加している。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 高齢者向け交通教室開催数は10件にとどまった。
高齢者の教室は、福井県感染警戒基準が注意報以下のみ開催が基本ではあるが、感染対策を徹底したうえで開催を希望する教室は開始し、対面による広報活動を実施していく。
また、対面でのPRができない状況も踏まえ、今後も広報さばえやHPを活用した自主返納のサービスPRは必要である。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	鯖江市役所JK課プロジェクト事業			
R3年度 事業名	鯖江市役所JK課プロジェクト事業			
総合戦略 体系	252	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	(女子) 高校生のまちづくり参加の促進

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課		開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	女性の高校卒業後の転出や地域離れは顕著になっており、おしつけることなく、女子高生自らが企画し、大人を巻き込みながら地域活動を実践することを通じ、若者や女性が進んで行政参加を図っていく新たなモデル都市となることを目指す。					
	概要	第1回「おとな版地域活性化プランコンテスト」で提案された企画を事業化。これまで市政に関しては「無関心層」と言われてきた女子高校生が、まちづくりチーム(鯖江市役所JK課)を結成。女子高生が自由な環境下で大人を巻き込みながら活動することにより、予想外の化学反応が生まれるというコンセプトのもと、産官学連携の枠組みを活用し、女子高生の活動を市や関係者がバックアップしながら、ふるさとへの誇りを全ての世代で共有していく。					
	コロナ対応 の取組	[R2年度] ミーティングは、オンラインとオフラインを併用しながら開催。県外のまちづくり団体ともオンラインを活用した企画を実施した。 [R3年度] ミーティングは、オンラインとオフラインを併用しながら開催。ピカピカプラン等、市民参加型の企画は感染対策の観点から実施しなかった。 [R4年度] 新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、会議についてはリアルでの実施を基本とする。既存企画については、ピカピカプラン等の屋外で実施するものに限定して実施していく。					
法令等 根拠		実施 形態	内容	市直営と民間委託(提案型市民主役事業:コード3681)での事業実施部分を分け、事業効果を向上させる。			
現在	民間等委託(一部)						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	活動日数		日	目標値	80	60	30	40	50
				実績値	52	28	44		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	鯖江市役所JK課オリジナル企画開催数		企画	目標値	8	5	2	3	4
				実績値	18	8	4		
	計算 根拠	(例)ピカピカプラン、水鉄砲水やり等		達成率	225	160	200		
				実数値					
			ランク		A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,556	1,300	866	309	900		事業タイ	単独事業
	決算額	1,556	667	41	45			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	14	214	学生連携事業費	5,400	900
	2							
	3							
	4							
5以降								
							合計	900

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
5以降			
		合計	0

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
13	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 新型コロナの感染状況を考慮しつつ、女子高校生がいかに関わり、まちづくりに親しみを持てるかを考え、原点回帰として可能な限り鯖江市役所を活動の拠点とする。また、令和3年度にJK課が「海と日本PROJECT推進パートナー」となったことで、福井県内の海洋ゴミ削減・SDGs推進に関するピカピカプラン等の企画を多方面に発信し、若者のまちづくり活動への参画意欲の向上と出番づくりを支援する。

来年度へ向けて R3年度実績 R3年度は、県内5つの高校(高専)から23人が参加。コロナ禍で活動やイベントができないながら、交通安全教室で使う信号機づくりや若者に投票を呼び掛ける選挙動画づくり、SUP体験や星空観測会などの新規企画を実施した。兵庫県尼崎市での開催となった全国高校生まちづくりサミットには4人のメンバーがオンラインで参加した。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R4年度のメンバー数が5校23人から6校38人に大幅に増えたため、各メンバーの希望や性格、キャラクターを把握した上で活動に結びつけるのは難しい。一方で、増員を活かした多彩な活動が期待される。まずは、「海と日本プロジェクト推進パートナー」としての活動を通じ、リクエストが多かった取り組みを一つでも多く盛り込み、JK課としてのやりがいや出番づくりを進めたい。「海と日本プロジェクト」の活動は鯖江市が進めるSDGsを考えるきっかけにもなる。メンバー数は多いが、一人ひとりの満足度を高めてもらうための工夫や配慮が必要。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 R5年度はJK課の結成10年の節目にあたることから、JK課の存在意義を改めて社会に伝える好機と捉え、大人を巻き込んで事業を展開していきたい。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由 結成10年の節目を捉えて、グループの存在感をより広めていくような取り組みをしたい。

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	まちづくり応援団交付金(融和と協働のまちづくり事業交付金)
R3年度 事業名	まちづくり応援団交付金(融和と協働のまちづくり事業交付金)

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課		開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	区長会連合会との協働により、地域住民が主役となり、市内全域でそれぞれの地区の特色を活かした地域活動を進め、住みよいまち・さばえの実現を図る。					
	概要	各地区に立ち上がったまちづくり応援団によるまちづくり活動に対して支援する。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度)一部地区で、「地域活動応援」分の交付金が活用できていない(7地区が実施済み)。 (R3年度)R4年度まで国・県の集落活性化支援事業の事業採択を受けており、引き続き市民の意欲を引き出しながら、交付金事業を行う。 (R4年度)特になし					
法令等 根拠		実施 形態	内容				
現在	補助金等交付						

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	各地区への広報数			目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	全地区・全部門からの応募数		部門	目標値	20	20	10	10	10
				実績値	19	16	6		
				達成率	95.0	80.0	60.0		
	計算 根拠	10地区×応援団部門		実績値					
				ランク	A	B	C		
	前年度 ランク B、Cの 理由	4地区の申請がなかったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額		1,500	1,500	1,000	1,000		事業タイプ	単独事業
	決算額		1,410	1,250	598			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	202	融和と協働のまちづくり事業費	95,553	1,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	集落活性化支援事業補助金	500
2		
3		
4		
5以降		
合計		500

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ 維持	取組内容 地域住民が主役となり、市内全域でそれぞれの地区の特色を活かした地域活動を推進する(まち美化部門は、市区長会連合会と協議の上、廃止した)。
来年度へ向けて R3年度の実績	6地区から申請があり、他4地区については申請がなかった。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R4年度まで国・県の集落活性化支援事業の事業採択を受けているが、R3年度も新型コロナウイルス感染症対策のため地域活動に制限があり、まちづくり応援団の活動を実施しなかった地区がある。今後も、新型コロナウイルス感染症対策を考慮したまちづくり活動を考えていく必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	未申請だった地区に対して、新型コロナウイルス感染症対策を行った活動(例えば、まちづくり応援団のこれまでの活動の発表の場を設けるなど)の働きかけを行う。
R5方向性⇒ 事務改善(業務プロセスの改善)	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	女性活躍プラットフォーム創出事業
R3年度 事業名	女性活躍プラットフォーム創出事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	あらゆる場面において、ジェンダー平等で女性が活躍しやすい社会となるよう、地域や企業における環境づくりや男性の意識改革を図るとともに、女性の参画意欲の向上を図る。(女性活躍の推進)				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の女性活躍を促進するため、働きやすい職場づくりのためのセミナーや女性の参画意欲向上のためのセミナー等を実施する。また、『さばえ38組(女性活躍を推進する経営者の会)』の先駆的取り組みを紹介し、会への参加者を増やしながら、女性がいきいきと活躍できる職場環境づくりへの取り組みを促進する。 夢みらい館さばえ、SDGs推進センターと連携し、企業や学校、市民団体などを巻き込みながら、ジェンダー平等と女性活躍推進に向けた活動と情報発信による啓発を行う。 				
	コロナ対応の取組	(R2年度)SDGs女性活躍推進セミナーは、講師のオンライン出演により開催。夢みらい館さばえの事業(さんかくカフェ)と併せて実施予定だったリーダー養成講座事業は、コロナ禍の影響により実施できなかったため、SDGs推進センターで活用するための女性活躍推進に関するコンテンツ製作に事業内容を変更。 (R3年度)セミナー等は、感染対策を徹底しながらオンラインを併用かつ参加者を限定して実施した。 (R4年度)感染対策を徹底しながら、事業を中止することなく、状況に応じた手法により実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	セミナーなどを民間に委託しながら実施	
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	セミナー等の開催数		回	目標値		8	3	3	3
				実績値		5	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	参加者数(延べ)		人	目標値		140	64	80	80
				実績値		95	64		
	計算 根拠	(2020)宝物ファイル体験セミナー48人、女性活躍セミナー47人 (2021)女性活躍セミナー26人、さばえ38組セミナー20人、北電×市職員 意見交換会18人		達成率		67.9	100		
				実数値					
		ランク			C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額			1,113	500	930		事業タイ	補助(国)事業
	決算額			1,113	500			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名		
					予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費(市民活躍課)		
2							
3							
4							
5以降							
						合計	930

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	地方創生推進交付金(1/2)	465
2		
3		
4		
5以降		
合計		465

事業要員	正規職員	0.16
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2削減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 削減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒	内容拡大
取組内容	市内企業の企業リーダーを対象にした女性活躍推進セミナーの開催、女性活躍を推進する経営者の会「さばえ38組」の取り組み紹介・意見交換会・研修会などを実施する。また、SDGs推進センター・夢みらい館さばえ・各種団体等と連携し情報共有を図りながら、女性が活躍できる居場所と出番づくりのための支援および情報発信に取り組む。	
来年度へ向けて	R3年度の実績	・さばえ38組の活動として「誰もが働きやすい職場づくりセミナー」や「女性活躍推進セミナー」の開催により、企業リーダーの意識改革と取り組み促進を図った。 ・インポスター症候群ゼロ運動の取組みとして、自己肯定感に関するアンケート調査を実施し、結果の公表と今後の解消に向けた取り組みについて検証した。 ・3月8日の国際女性デーに合わせ、3月をジェンダー平等と女性活躍の推進月間として、夢みらい館さばえおよびSDGs推進センター、市民相談課と連携
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	働く女性が働きやすく働き続けられる環境づくりを推進するため、「さばえ38組」の趣旨に賛同する企業リーダー参加者を増やしなが、誰もがいきいきと活躍できる職場環境づくりの重要性を広く認識してもらう必要がある。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	市内の中小企業経営者の「さばえ38組」参加への呼びかけやセミナー開催に加え、企業の具体的な取り組みを推進していく必要があるため、関係部署と連携し、企業の取り組みへのアドバイスや支援制度の活用等を促進していく。
	R5方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	家事シェアプロモーション事業		
R3年度 事業名	家事シェアプロモーション事業		
総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造
			女性の活躍支援

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	ジェンダー平等で女性が活躍しやすい社会環境を促進するため、家事・育児に対する男性の意識改革および家庭内の育児・家事の役割分担を進めることで、女性が社会進出して活躍しやすい環境づくりを目指す。				
	概要	家族や夫婦で家事・育児の役割分担について話し合い、男性がもっと積極的に家庭内での役割を担い女性の負担を軽減することにより、家族や夫婦が協力し合い、共に楽しんで家事・育児ができることを推進する目的とした事業として、子育て支援センターと連携したファミリー向けイベントを開催する。また、育児中のお父さんが子育て情報を共有できる場を設ける。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 講師、参加者ともにオンラインにて、Zoomを活用したチャット参加型での研修会を実施した。 (R3年度) 引き続き、感染防止対策を徹底しながら事業を実施した。 (R4年度) 引き続き、感染防止対策を徹底しながら事業を実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	セミナーなどを民間に委託しながら実施	
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	開催数		回	目標値		1	2	1	1
				実績値		1	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	参加者数		人	目標値		30	30	40	40
				実績値		34	50		
	計算 根拠	(2020)家事シェア研修会30人 (2021)Sabaパパ交流会15人×2回 (2022)トモカシ推進イベント40人	達成率		113.3	166.7			
			実数値						
		ランク		A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額			200	171	200		事業タイ	単独事業
	決算額			176	171			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費(市民活躍課)	7,526	200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	200

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	地方創生推進交付金(1/2)	100
2		
3		
4		
5以降		
合計		100

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	15
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒	維持
取組内容	R4年度より、提案型市民役事業として実施。家族で話し合いながら家事・育児を分担し、家庭生活の中で誰かに負担が偏ることなく協力し合える家庭環境について夫婦で考えるきっかけとなるイベントを開催する。
来年度の実績	R3年度 親子参加型として、子育て中のお父さんをターゲットとした「Sabaパパ交流会」や「Sabaパパのイクカジ実践」のイベント開催により、子育て家族の話し合いのきっかけをつくりながら、子育てパパの家事育児に対する意識改革と実践に繋げる取り組みを図った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	家事シェアプロモーション事業として、1年目(R2)は家事シェアとは何かという視点での講演会を開催し、家事分担の良さや必要性を伝え、2年目(R3)は子育て世代の男性を対象に、育児の楽しさを伝え、3年目(R4)は、実際に男性の家事・育児参加と夫婦の「共家事」を促す事業に取り組んだ。今後も引き続き、男性の家事・育児参加促進、夫婦や家族の家事シェア推進について、あわせて取り組んでいく必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	実施	未実施

R4年度事業名	家事シェア推進事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	200

R5年度事業名	家事シェア推進事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	200

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業
R3年度 事業名	鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業

総合戦略 体系	211	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	学生連携事業
------------	-----	----------------	-----------------------------------	--------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	「鯖江市役所JK課プロジェクト」はそのスタート以来、行政が主な事務局を担っていたが、市民団体がプロジェクトをサポートすることで、事業の広がりやJK課と市民同士の連携の強化を図る。				
	概要	鯖江市役所JK課プロジェクトの基本コンセプトは「自分たちがやりたいことをやる、その結果、大人たちを巻き込んだまちづくりになっていた」。その実現のために、月1回程度の「やりたいことワークショップ」を開催し、年1件以上の新企画具現化をサポートする。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)リアル会議に加えてオンラインによるミーティングを実施した。 (R3年度)リアル会議に加えてオンライン会議も実施 (R4年度)コロナの感染状況をみながら、オンライン会議の実施するとともに、企画を具現化する際は感染防止対策を徹底する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
鯖江市JKOG課活動日数		日	目標値		5	5	10	15
			実績値		6	34		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
JK課新規自主企画の具現化		企画	目標値		1	1	1	2
			実績値		1	4		
計算 根拠			達成率		100	400		
			実数値					
				ランク		A	A	
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額			300	540	350		事業タイプ	単独事業
	決算額			199	540			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	14	214	学生連携事業費	5,400	350
	2							
	3							
	4							
5以降								
							合計	350

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
5以降			
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	65

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	12	次年度方向性の目安	維持または事務改善
点数区分	0点~8点	事務改善または廃止・休止	
	9点~16点	維持または事務改善	
有効性		成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 事務改善
取組内容	市民団体が、現役JK課メンバーならではのやりたいこと、面白いと思うことを月1回ベースの会議で話し合い、企画の立案をサポートする。また、令和4年度はJK課プロジェクトが発足して9年目となることから、10年の節目を迎えるタイミングを契機とするJK課卒業生を交えた企画やプロジェクトの拡大を図る企画(春・さばえスタートアップ事業)を検討していく。
来年度の実績	ワークショップ開催:年間9回 新企画具現化(SUP体験、天体観測with福井高専天文同好会、海と日本プロジェクト、卒業生交流イベント) 視察対応7回(富山県南砺市立平中学校、北海道フロンティアリーダー養成事業など)
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	令和3年度はコロナ禍ながら、SUP体験や天体観測会といった新企画を実施した。これらはいずれもコロナ後に一般市民を呼んでのイベントを見据えてJK課で試験的に実施したものである。そのため、令和4年度は市民に参加してもらえイベントに発展させて開催することが期待される。また、令和4年度はJK課が海ごみを考える「海と日本プロジェクト」推進パートナーになって2年目を迎える。メンバーの興味・関心を引き出しつつ、SDGsにつながる活動を展開したい。さらに、令和5年度はJK課発足10年の節目を迎えることから、令和5年度にどのような取り組みをしていくかについて、JK課メンバーとの連携を密にしながその土台を作っていくことが期待される。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	JK課発足10年をシティープロモーションと改めてのブランディングの好機と捉え、これまでの経験と蓄積を活かしたより発信力の高い取り組みを進めたい。
R5方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	実施	実施	実施	未実施

R4年度事業名	鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	350

R5年度事業名	鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	500

取組可能な事業の詳細⇒